（門真市消防団）

1　門真市消防団の沿革

明治27年（1894年）

2 月　「消防組規則」の制定により「消防組」が結成され、消防事務を各市町村の義務とし、今までの義勇消防に法的地位を確立して、その運用は知事に委任された。

昭和 9 年（1934年）

4 月　軍の指導で各市町村に「防護団」「防護分団」が、会社工場には「特設防護分団」が結成された。

昭和14年（1939年）

4 月　1 日、門真村が門真町となる。
勅令「消防組規則」が廃止され、消防組もまた、発展的解消、新たに「警防団」が結成。
（門真町警防団、大和田村警防団、四宮村警防団、二島村警防団となる。）

昭和22年（1947年）

4 月　勅令185号で警防団が廃止され、「消防団」が生まれる。

9 月　各町村の警防団が消防団と改称。
陣容は次のとおりであった。

区分／団名	団員数		主力機械			
	定員	実員	中型ポンプ車	手曳ポンプ	腕用ポンプ	計
門真町消防団	104	104	1	2	3	6
大和田村消防団	100	73	－	3	2	5
四宮村消防団	147	147	－	3	3	6
二島村消防団	65	65	－	2	－	2
合計	416	389	1	10	8	19

昭和28年（1953年）

3 月　門真町消防団に大阪府知事より竿頭綬が授与される。

昭和29年（1954年）

3 月　門真町消防団に大阪府消防協会会長より竿頭綬が授与される。

昭和31年（1956年）

9 月　町村合併促進法により門真町に大和田村、四宮村、二島村を編入合併し、新しい門真町が誕生。

	これに伴い消防団も編入合併し、定員307名、21分団、中型ポンプ車１台、手曳ポンプ12台、可搬動力ポンプ８台の人員機械をもって新しい門真町消防団が誕生。 当時の階級別人員（定員＝実員）は、団長１、副団長８、分団長21、部長６、班長42、団員229、計307名。
昭和32年（1957年）	
９月	北河内支部消防操法大会において、小型動力ポンプ操法の部に堂々初優勝を飾る。
10月	第１回大阪府消防操法大会において、自動車ポンプ操法の部で敢闘賞を授与される。
昭和33年（1958年）	
10月	第２回大阪府消防操法大会において、手曳動力ポンプ操法の部に第３位、自動車ポンプ操法の部に敢闘賞と活躍する。
昭和34年（1959年）	
２月	新型普通ポンプ自動車（Ａ２級）を購入し、機動力の充実に着手。（門真分団に配備）
３月	大阪府消防協会会長より表彰旗を授与される。
８月	北河内地区支部消防操法大会において、手曳動力ポンプ操法の部、自動車ポンプ操法の部の２部門に優勝。
10月	第３回大阪府消防操法大会において、自動車ポンプ操法の部で第２位、手曳動力ポンプ操法の部で第３位に入賞。
昭和35年（1960年）	
９月	従来の手曳ポンプ、腕用ポンプを可搬動力ポンプに切り換え実施、警備力の強化につとめる。 (北島分団、12月藤島分団、翌年５月野口分団、38年２月上三ツ島分団、同年８月横地分団に配備）
10月	第４回大阪府消防操法大会において、自動車ポンプ操法の部で敢闘賞を授与される。
昭和38年（1963年）	
３月	日本消防協会会長より竿頭綬が授与される。
８月	１日、市政施行に伴い、門真市消防団と改称する。
９月	北河内地区支部消防操法大会において、手曳動力ポンプ操法の部及び可搬動力ポンプの部で堂々たる優勝を果す。
10月	大阪府消防操法大会において、手曳動力ポンプ操法の部で第２位、可搬動力ポンプの部で第３位に入賞。

昭和39年（1964年）	
3月	普通ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車を購入、古川橋、岸和田分団にポンプ車を、二番分団に小型動力ポンプをそれぞれ配備、近代消防の礎となる。
8月	北河内地区支部消防操法大会において、可搬動力ポンプ操法の部に優勝。
10月	大阪府消防操法大会において、可搬動力ポンプ操法の部に準優勝。
昭和40年（1965年）	
8月	北河内地区支部消防操法大会において、可搬動力ポンプ操法の部に優勝。
10月	大阪府消防操法大会における、可搬動力ポンプ操法の部において、日頃の機械器具精通訓練の実力を発揮し、準優勝を飾る。
昭和41年（1966年）	
4月	消防団組織を改正。 消防力の強化促進のため、従来の人力活動から機動力に変遷、定員277名、4分団21班に編成。 (階級別実員は、団長1、副団長4、分団長4、副分団長0、部長21、班長48、団員199、計277名)
8月	北河内地区支部消防操法大会において、大吸管自動車ポンプ操法、軽量吸管自動車ポンプ操法、可搬動力ポンプ操法の3部門に優勝。
10月	大阪府消防操法大会において、小型可搬動力ポンプ操法の部に優勝、大吸管自動車ポンプ操法の部で第3位に入賞、軽量吸管自動車ポンプ操法の部では敢闘賞を授与、当消防団の名声を高める。
12月	普通ポンプ自動車の購入が次々と実施され、近代消防への転換時期到来 (第2分団第2班(三ツ島分隊)に配備し、続いて翌年8月第4分団第1班(島頭分隊)に、43年12月第3分団第4班(打越分隊）に配備)
昭和42年（1967年）	
3月	日本消防協会会長より表彰旗を授与される。
4月	消防団組織を改正。 定員247名、4分団20班に編成し、班長の階級を副分団長とした。階級別実員は、団長1、副団長4、分団長4、副分団長20、部長44、班長0、団員174、計247名となる。
8月	可搬動力ポンプの補充が急激に開始された。 (第1分団第5班(一番分隊)、第4分団第5班(下馬伏分隊）に、又、翌年3月第1分団第2班(小路分隊）に配備された)
昭和45年（1970年）	
4月	当消防団の機動力増強を図るため、小型動力ポンプ付積載車の緊急購入、

	完全配備実施が開始された。 小型動力ポンプ積載車３台(第１分団第５班(一番分隊)、第２分団第１班(上三ツ島分隊)、第４分団第５班(下馬伏分隊）に配備並びに小型動力ポンプ付積載車１台(第３分団第１班(常称寺分隊))を購入配備。
７月	小型動力ポンプ積載車２台(第３分団第２班(大和田西分隊）・第３班(大和田東分隊))と、小型動力ポンプ付積載車２台(第４分団第１班(江端分隊)第２班(上馬伏分隊))を購入配備。
昭和46年（1971年）	
３月	消防庁長官より竿頭綬が授与される。
９月	小型動力ポンプ２台（第１分団第３班（三番分隊)、第４分団第３班（巣本分隊)）に購入配備。
10月	小型動力ポンプ積載車５台（第１分団第２班（小路分隊）・第３班（三番分隊)、第２分団第３班（薙島分隊)、第３分団第５班（北島分隊)、第４分団第３班（巣本分隊)）に購入配備。これにより当消防団の主力機械の機動化が完成する。
昭和47年（1972年）	
９月	７月豪雨の防災功労により、建設大臣より防災功労者表彰を受ける。
11月	７月豪雨と20号台風における防災功労により、社団法人全国防災協会会長より防災功労者表彰を受ける。
昭和49年（1974年）	
３月	大阪府知事より表彰旗を授与される。
10月	門真ライオンズクラブより本部指令車を寄贈される。
昭和50年（1975年）	
４月	消防団組織を改正。 ４方面隊７小隊20分隊に編成され、方面隊長には分団長、小隊長、分隊長には副分団長の階級の者をもって充てた。
昭和52年（1977年）	
10月	北河内地区消防ポンプ操法大会において、小型動力ポンプ操法の部において優勝、伝統ある高度な技術を披露する。
昭和53年（1978年）	
６月	門真市消防団出火出動に関する規程を全部改正。
昭和55年（1980年）	
９月	第24回大阪府消防操法訓練大会において、ポンプ車操法の部で優勝。
10月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第一方面隊門真分隊に配備した。 東京後楽園球場において行われた消防団100年記念大会に団長、副団長４名、

	方面隊長４名、計９名を派遣する。
昭和56年（1981年）	
３月	消防庁長官より表彰旗が授与される。
昭和57年（1982年）	
10月	小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第二方面隊上三ツ島分隊、第四方面隊下馬伏分隊に配備した。
昭和58年（1983年）	
４月	消防団組織を改正。 方面隊長には、副団長、小隊長と分隊長には、分団長の階級の者をもって充てた。
９月	小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第一方面隊一番分隊、第三方面隊常称寺分隊に配備した。
10月	第27回大阪府消防操法訓練大会において小型動力ポンプ操法の部において第３位に入賞。
11月	日本武道館において行われた自治体消防35周年記念大会に団長、副団長６名、計７名を派遣する。
昭和59年（1984年）	
９月	小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第三方面隊大和田西分隊、第四方面隊江端分隊に配備した。
昭和60年（1985年）	
９月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第四方面隊岸和田分隊に配備した。 小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第二方面隊葎島分隊、第三方面隊北島分隊に配備した。
昭和61年（1986年）	
８月	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車を受贈し、第四方面隊巣本分隊に配備した。
９月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第一方面隊古川橋分隊に配備した。 小型動力ポンプ付積載車を購入、第一方面隊三番分隊に配備した。
昭和62年（1987年）	
９月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第二方面隊三ツ島分隊に配備した。 小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第一方面隊小路分隊、第三方面隊大和田東分隊に配備した。
昭和63年（1988年）	
３月	東京、日本武道館において行われた自治体消防40周年記念大会に団長、副

	団長５名、計６名を派遣する。
９月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第四方面隊島頭分隊に配備した。 小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第一方面隊二番分隊、第四方面隊上馬伏分隊に配備した。
平成元年（1989年）	
10月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第三方面隊打越分隊に配備した。 指令車を購入、団本部に配備した。
平成２年（1990年）	
３月	㈶日本消防協会会長より竿頭綬が授与される。
平成３年（1991年）	
10月	第35回大阪府消防操法訓練大会において、北河内地区代表として第三方面隊が自動車ポンプ操法の部に出場した。
平成５年（1993年）	
11月	東京ドームにおいて行われた自治体消防45周年記念大会に団長、副団長他計９名を派遣する。
平成６年（1994年）	
７月	小型動力ポンプ付積載車１台を購入、第二方面隊上三ツ島分隊に更新配備した。
９月	第38回大阪府消防操法訓練大会において、北河内地区代表として第二方面隊が小型動力ポンプ操法の部に出場した。
平成７年（1995年）	
１月	阪神・淡路大震災の救援部隊として第四方面隊から５名を２日間兵庫県へ派遣した。
４月	秋田治夫団長が ㈶大阪府消防協会北河内地区支部長に就任。
８月	市制施行30周年に伴い団旗を新調した。
12月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入、第一方面隊門真分隊に更新配備した。
平成８年（1996年）	
５月	秋田治夫団長が㈶大阪府消防協会副会長に就任。
６月	第二方面隊上三ツ島分隊が大阪の消防大賞奨励賞を受賞した。
平成９年（1997年）	
９月	小型動力ポンプ付積載車２台を購入、第三方面隊北島分隊、第四方面隊下馬伏分隊に更新配備した。
平成10年（1998年）	
１月	守口市門真市消防組合並びに守口市消防団との三機関合同による消防出初

	式を行った。
3月	日本武道館において行われた自治体消防50周年記念大会に団長を派遣する。
9月	第42回大阪府消防操法訓練大会において北河内地区代表として、第一方面隊が自動車ポンプ操法の部に出場した。
平成11年（1999年）	
2月	秋田治夫団長が㈶大阪府消防協会会長に就任。
3月	大阪府消防協会会長より表彰旗が授与される。
9月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入、第一方面隊一番分隊、第三方面隊常称寺分隊に更新配備した。
平成12年（2000年）	
9月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入、第三方面隊大和田西分隊、第四方面隊江端分隊に更新配備した。
平成13年（2001年）	
8月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入、第二方面隊蕊島分隊に更新配備した。 普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）1台を購入、第四方面隊岸和田分隊に更新配備した。
9月	第45回大阪府消防操法訓練大会において北河内地区代表として、第四方面隊第一小隊が小型ポンプ操法の部に出場した。
平成14年（2002年）	
3月	㈶大阪府消防協会会長より竿頭綬が授与される。 生活協同組合全日本消防人共済会より小型動力ポンプ付積載車を受贈し、第四方面隊巣本分隊に更新配備した。
4月	消防団活動の充実強化を図るため、女性消防団員7名を任命し、消防団本部へ配備した。
5月	秋田治夫団長が近畿地区消防協議会会長に就任した。 消防団活動の充実強化を図るため、女性消防団員1名を任命した。 秋田治夫団長が㈶日本消防協会副会長に就任した。
7月	全日空ゲートタワーホテル大阪において行われた第8回全国女性消防団員活性化大阪大会に副団長、女性消防団員を派遣する。
9月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入、第一方面隊三番分隊に更新配備した。 普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）1台を購入、第一方面隊古川橋分隊に更新配備した。
11月	元副団長西邨力氏が勲六等単光旭日章を授与される。
平成15年（2003年）	
3月	㈶大阪府消防協会会長より感謝状が授与される。

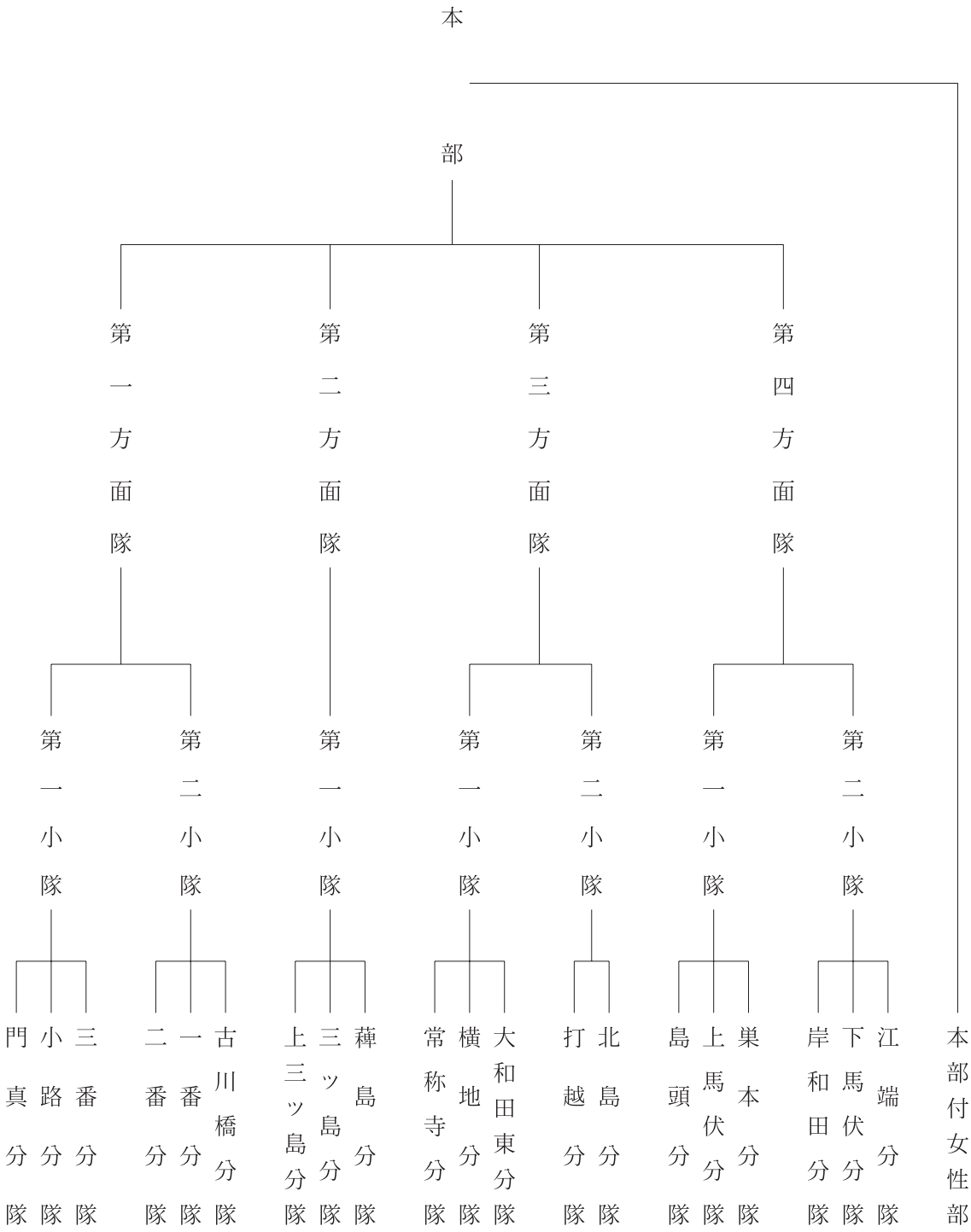
4 月	消防団活動の充実強化を図るため、女性消防団員 5 名を任命した。 元副団長山本五郎氏が勲六等単光旭日章を授与される。
7 月	産経新聞社より消防団員の部で第四方面隊が大阪の消防大賞を授与される。
9 月	普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）１台を購入、第二方面隊三ツ島分隊に更新配備した。 小型動力ポンプ付積載車 2 台を購入、第一方面隊小路分隊、第三方面隊大和田東分隊に更新配備した。
11月	元副団長川西弘氏が瑞宝単光章を授与される。 東京ドームにおいて行われた自治体消防55周年記念大会に副団長、分隊長、女性団員計11名を派遣する。
平成16年（2004年）	
3 月	生活協同組合全日本消防人共済会より指令車を受贈し、消防団本部に更新配備した。
4 月	消防団活動の充実強化を図るため、女性消防団員 5 名を任命した。 地元からの要望により消防団組織を一部改正。 第三方面隊「大和田西分隊」から第三方面隊「横地分隊」へと改称した。 消防団員服制基準の改正に伴い現在の作業服から新基準活動服に更新し、今年度入団団員に貸与する。 元副団長川井光三氏が瑞宝単光章を授与される。
8 月	消防団員服制基準の改正に伴い現在の夏制服から新基準夏制服に更新し、全男性団員に貸与する。 第四方面隊島頭分隊の普通ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）から小型動力ポンプ付積載車１台を購入し変更配備した。 小型動力ポンプ付積載車１台を購入、第四方面隊上馬伏分隊に更新配備した。
平成17年（2005年）	
3 月	地域住民に消防団員の存在感をアピールするとともに、消防団員としての一体感、連携を深めるため消防団員の証(プレート)を全消防団員に配布し、各団員の自宅の玄関等に掲示した。
9 月	第49回大阪府消防操法訓練大会において北河内地区代表として、第三方面隊が自動車ポンプ操法の部に出場した。
10月	普通ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）１台を購入、第三方面隊打越分隊に更新配備した。
平成18年（2006年）	
2 月	(財)日本消防協会会長より消防団最高の栄誉である特別表彰「まとい」が授

	与される。
4月	特別表彰「まとい」受賞記念事業（記念式典・消防遺児ワンコインチャリティ上映会)をルミエールホールで実施した。 副団長樋口定雄氏が藍綬褒章を授与される。
5月	特別表彰「まとい」受賞記念事業（消防遺児ワンコインチヤリテイ上映会）で集まった寄付金を財団法人消防育英会へ全額寄附した。
8月	小型動力ポンプ付積載車１台を購入、第一方面隊二番分隊に更新配備した。
9月	万博公園お祭り広場において行われた第50回記念大阪府消防操法訓練大会に参加した。 財団法人消防育英会会長より感謝状が授与される。
平成19年（2007年）	
10月	新基準活動服を購入、未貸与の男性団員に貸与した。
平成20年（2008年）	
2月	(財)日本消防協会主催の消防団幹部候補中央特別研修（女性の部）に女性消防団員１名を派遣した。
3月	日本武道館において行われた自治体消防60周年記念大会に副団長１名を派遣する。
4月	元副団長奥田宜宏氏が瑞宝単光章を授与される。
8月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入、第一方面隊上三ツ島分隊に更新配備した。 消防大学校団長科（第53期）に副団長１名を派遣する。
9月	万博記念公園お祭り広場において行われた第52回大阪府消防操法訓練大会に北河内地区代表として、第二方面隊が小型ポンプ操法の部に出場、日頃の訓練の実力を発揮し優勝の栄冠に輝いた。
10月	東京ビックサイトにおいて行われた第21回全国消防操法大会に大阪府代表として小型ポンプ操法の部に初出場し健闘した。
11月	消防大学校団長科（第54期）に副団長１名を派遣する。
平成21年（2009年）	
2月	(財)日本消防協会会長より表彰旗が授与される。
平成22年（2010年）	
3月	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両を無償借受し、第四方面隊江端分隊に更新配備した。
12月	社会のさまざまな場での減災と地域の防災力向上のため、本部団員、女性団員計11名が「防災士」資格を取得した。

平成23年（2011年）	
12月	小型動力ポンプ付積載車１台を購入、第一方面隊門真分隊に更新配備した。
平成 24年（2012年）	
9 月	第56回大阪府消防操法訓練大会において、北河内地区代表として第一方面隊がポンプ車操法の部に出場した。
11月	元副団長橋田甲一郎氏が瑞宝単光章を授与される。 副団長淀井和明氏が藍綬褒章を授与される。
平成25年（2013年）	
3 月	大阪府知事より表彰旗を授与される。
11月	東京ドームにおいて行われた消防団120年・自治体消防65周年記念大会に団長、副団長、方面隊長、女性団員計10名を派遣する。
平成26年（2014年）	
5 月	元団長秋田治夫氏が瑞宝小綬章を授与される。
平成27年（2015年）	
4 月	消防団活動の充実強化を図るため、女性消防団員１名を任命した。
9 月	第59回大阪府消防操法訓練大会において、北河内地区代表として第四方面隊が小型ポンプ操法の部に出場した。
平成28年（2016年）	
1 月	消防団員の安全装備品充実のため、救助用ヘルメット100個を配備した。
2 月	(公財)日本消防協会主催の消防団幹部候補中央特別研修(女性の部)に女性消防団員１名を派遣した。
3 月	社会のさまざまな場での減災と地域の防災力向上のため、平成23年度から実施していた自主防災組織リーダー育成事業について消防団員90名が「防災士」資格を取得した。
5 月	消防団員の安全装備品の充実のため、救命胴衣を100着配備した。
7 月	消防団活動の充実強化を図るため、女性消防団員３名が救急インストラクター講習を受講し、認定証を取得した。
平成29年（2017年）	
2 月	(公財)日本消防協会主催の消防団幹部候補中央特別研修(男性の部)に男性消防団員１名を派遣した。
7 月	普通ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）1台を購入、第四方面隊岸和田分隊に更新配備した。
8 月	小型動力ポンプ付積載車１台を購入、第三方面隊北島分隊に更新配備した。
9 月	小型動力ポンプ付積載車１台を購入、第四方面隊下馬伏分隊に更新配備した。

9 月	消防団活動の充実強化を図るため、男性消防団員 3 名が救急インストラクター講習を受講し、認定証を取得した。
12月	消防団員の安全装備品の充実のため、編上げ靴を男性消防団員に配備した。
平成30年（2018年）	
3 月	両国国技館において行われた自治体消防70周年記念大会に副団長 2 名を派遣する。 小型動力ポンプ付積載車 1 台を購入、第四方面隊巣本分隊に更新配備した。
11月	団長寺西和彦氏が藍綬褒章を授与される。
12月	消防団員の安全装備品の充実のため、耐切創性皮手袋を男性消防団員に配備した。
令和元年（2019年）	
9 月	第63回大阪府消防操法訓練大会において、北河内地区代表として第三方面隊がポンプ車操法の部に出場した。
10月	副団長岩田隆行氏が藍綬褒章を授与される。
12月	小型動力ポンプ付積載車 1 台を購入、第三方面隊常称寺分隊に更新配備した。 消防団員の安全装備品の充実のため、保安帽、雨合羽を男性消防団員に配備した。
令和 2 年（2020年）	
12月	消防団員の安全装備品の充実のため、ヘルメット用LEDライトを各分隊に 3 個ずつ配備した。
令和 3 年（2021年）	
12月	消防団員の安全装備品の充実のため、保安帽を第一・第三方面隊に 4 個ずつ配備した。
令和 4 年（2022年）	
9 月	小型動力ポンプ付積載車 1 台を購入、第三方面隊横地分隊に更新配備した。 第66回大阪府消防操法訓練大会において、北河内地区代表として第二方面隊上三ツ島分隊が小型ポンプ操法の部に出場し 3 位に入賞。
12月	消防団員の安全装備品の充実のため、第一種保安帽を第二・第四方面隊に 4 個ずつ配備した。
令和 5 年（2023年）	
8 月	小型動力ポンプ付積載車 1 台を購入、第二方面隊藤島分隊に更新配備した。
10月	小型動力ポンプ付積載車 1 台を購入、第一方面隊一番分隊に更新配備した。
12月	消防団員の安全装備品の充実のため、雨合羽を各分隊に 4 着配備した。

令和６年（2024年）	
３月	大阪府公益財団法人大阪府消防協会会長より竿頭綬が授与される。
７月	産経新聞社主催の第39回大阪の消防大賞【消防団員の部】において第四方面隊が表彰された。
９月	第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会に女性消防団員２名を派遣した。

2　門真市消防団の組織

（令和７年４月１日現在）